

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	狭山市立狭山台図書館		代表者名	吉田朋生	
担当者部署	狭山市立狭山台図書館		連絡先電話番号	04-2958-3801	
担当者役職	副館長	担当者氏名	登坂喜代美	連絡先E-mail	
住所	350-1304 埼玉県狭山市狭山台1-29-2				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	取り組もうとする事業案の精度を高めるため、事業の継続性を担保する方法の確立、見る側に訴える力のある展示方法の大切さについてご助言をいただきとても参考になったため。
アドバイザー への要望事項	些細なことも含め色々とお尋ねすると思うが、一つ一つにご助言いただければと思う。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年3月3日	14時00分	17時30分	15	195
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	これまでのアドバイスから、本事業を行うことの意義と主なターゲット層の明確化、具体的な展示方法についての打ち合わせ、関係する行政部署への働きかけ等を行うことができた。これらを受け、作成した来年度(初年度)の計画について、より具体的で実効性の高い計画としてブラッシュアップするためのアドバイスをいただきたい。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・企業へのアプローチを開始し、来年度に展示コーナーの設置を行うこと。 ・地元の企業を応援する、地域の方に地元企業を知って頂くために、展示以外の手段も検討し、当館のビジネス支援を発展させること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・実効性は高いが、プラスアルファの工夫や、今後どのように発展させるか、また、継続させるための計画があると良いとのアドバイスを頂いた。 ・ビジネス支援の代表的な事例や、先進事例をご紹介頂き、事例を見る・評価する際のポイントなども教えて頂いた。 ・利用者や地域の方へ届く取り組みにするために、目を引く展示の方法やどのようなメッセージを伝えているかなど具体的な方法を教えて頂いた。 ・取組を継続させるには、熱意を持って取り組むことや深い関係性を築くことが方法のひとつであること、図書館外の方々と連携するにあたっての、関係性の構築方法など、ご経験や他館の事例からご紹介頂いた。 ・事業の継続性について：スタートさせたときの企業担当者が変更すると当初の意欲が薄れる恐れもあるため、人間関係構築の場づくりは計画に組み込んでおくことよい。特に、物品のやり取りだけでは接点が薄くなるため、人と人との関係性を作るための工夫が必要 ・展示方法について：視覚的なイメージは大切にしたい。地元企業と共同開発できると、そこからつながりも生まれる。ただし、備品等はフレキシブルに利用できるかどうかを考えて用意すること。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の取り組み開始に向けての計画の見直しや、詳細な展示についての検討が必要と分かった。 ・とくに相手方との関係性の構築を丁寧に時間をかけて行う必要があると感じた。そのため、来年度前半は準備や情報収集を進め、後半から本格的な実施することとなった。 ・また、他館の先進事例を参考に、利用者や地域の方にとどのように見て頂きたいのか、改めて丁寧に検討していく必要があると分かった。 ・図書館サービスを向上させるために、日常的に図書館界だけではなく広くアンテナを張り、取り組みに活かしていく。 ・今後購入検討する備品について、企業との共同開発という新たな視点を得ることができた。 ・事業の継続性の担保として、人と人との関係性づくりが欠かせないことを認識できた。また、そのための方策として、茶話会の中で異業種交流を行う仕組みや、企業参加を促すための仕組みづくりなど、事例をもとにアドバイスいただき、計画に組み込むことができた。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	以下を計画している。 2021年度前期：展示用備品の購入、産業振興課（所管課）から地元企業の紹介 2021年度後期：各企業との打ち合わせ、資料の収集、書籍の発注、企業の製品等展示	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	事業プロジェクトを立ち上げ初年度のための計画策定はできたが、他の事業との連携を踏まえた、長期的な視点における複合事業のロードマップ作成には至らなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・オンラインミーティングであり、講演やセミナーなどは行っておらずアンケートも行っていないため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

